

新事業のコンセプトやブランド戦略を検討するために、経営デザインシートを作成

## 経営デザインシート作成の背景

- （株）フォスタは、これまで公共の健康増進施設の指定管理者業務を主に行ってきた。そのため、堅調な事業基盤を有し、関係者からの信頼も厚く、施設管理や健康運動の有資格スタッフが活躍している。
- その一方で、主事業が期限のある契約であることや、事業の分野において競争が激化してきたこともあり、経営基盤の安定化のために他社との差別化を図ることが重要になってきた。
- そこで、自社の創造的な発想を生かし、自分たちで事業の開発・運営ができる新事業を検討するために、知財総合支援窓口の支援を受けて、経営デザインシートを作成。

## 経営デザインシート作成のプロセス

- ①新事業創出に係る情報の整理・分析
  - ・同社の有するビジョン・方針の明確化
  - ・同社を取り巻く社会的環境の動向・変化
  - ・同社が現在開発している新事業の具体化
- ②経営デザインシートの作成
- ③従業員・関係者に対する経営デザインシートの共有
  - ・経営デザインシートを用いて、事業方針の共有と意見交換
- ④経営デザインシートを基にしたブランド戦略の検討



従業員・関係者との意見交換

## 経営デザインシートを活用した感想・効果

社長：

- 新事業の開発→テスト→サービス提供と進めてきて、ビジネスとして成り立ってきたところ、経営デザインシートの作成を通じて、自分たちがやっていることをもう一度考えることができたことで、新事業の将来性が見えてくるようになった。また、事業を進める上で、どのような相手と連携することができるか考えるきっかけになった。
- 新事業のブランドについて、新たな商標の選択を含めて、従業員を巻き込んで考える機会ができた（商標登録出願検討中）。ブランド作りは自社の意味合いを明確化することだと考える。経営デザインシートはこの意味合いを考えるプロセスになる。このような意味で、ブランド戦略の基礎としても利用できる。